

- 1 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 2 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？
- 3 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 4 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
- 5 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？
- 6 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 7 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 8 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 9 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
- 10 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 11 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 12 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？
- 13 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？
- 14 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 15 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 16 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 17 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 18 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 19 聖徳太子や蘇我氏を中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 20 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 21 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？
- 22 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「 <u>防人</u> 」を配置して警備を強化しました。		<u>防人</u>	☐
2	<u>天武天皇</u> は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。		<u>天武天皇</u>	☐
3	「 <u>飛鳥文化</u> 」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。		<u>飛鳥文化</u>	☐
4	釈迦三尊像に見られる「 <u>左右対称</u> 」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。		<u>左右対称</u>	☐
5	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。		<u>白村江の戦い</u>	☐
6	<u>聖徳太子</u> は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。		<u>聖徳太子</u>	☐
7	<u>大海人皇子</u> は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。		<u>大海人皇子</u>	☐
8	604年に制定されました。		<u>十七条の憲法</u>	☐
9	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「 <u>大化の改新</u> 」を開始しました。		<u>大化の改新</u>	☐
10	<u>聖徳太子</u> は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。		<u>聖徳太子</u>	☐
11	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「 <u>中央集権</u> 」です。		<u>中央集権</u>	☐
12	672年に始まったこの争いは「 <u>壬申の乱</u> 」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。		<u>壬申の乱</u>	☐
13	603年に制定された <u>冠位十二階</u> は、役人に大徳から小智まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。		<u>冠位十二階</u>	☐
14	<u>聖徳太子</u> は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。		<u>聖徳太子</u>	☐
15	「 <u>公地公民</u> 」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。		<u>公地公民</u>	☐
16	607年に小野妹子らが派遣されました。		<u>遣隋使</u>	☐
17	<u>渡来人</u> は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。		<u>渡来人</u>	☐
18	<u>仏教</u> は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。		<u>仏教</u>	☐
19	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。		<u>飛鳥文化</u>	☐
20	604年に聖徳太子によって制定された「 <u>十七条の憲法</u> 」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。		<u>十七条の憲法</u>	☐
21	<u>天武天皇</u> は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。		<u>天武天皇</u>	☐
22	<u>中央集権国家</u> とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。		<u>中央集権国家</u>	☐

言えなかった用語ノート